単 元 名	Unit 8　　旅立ちの日	配当時間	４～８時間
単元の目標	(1) さがしているものの場所や，見えているものの持ち主について積極的に尋ねたり，答えたりしようとする。 (2) WhereやWhoseや人称代名詞の目的格を用いて身近なことについて問答したり，表現したりすることができる。 (3) 登場人物の出発までの様子や空港や機内での対話の内容を理解することができる。 (4) Where，Whoseや人称代名詞の用法を正しく理解することができる。		

☆本単元では，WhereやWhoseを用いて身の回りのことについて問答できるようにするとともに，人称代名詞の用法について理解を深めさせたい。また，空港や機内で話される英語を通して，外国や，海外旅行への関心を高めさせたい。

①★**Part 1** ものの場所についての質問の仕方や答え方を知り，問答する。 さがしているものの場所を尋ねたり答えたりしてみよう。 評Whereを用いてものの場所について問答することができる。（発表，観察） ②★**Part 2(1)** ものの持ち主についての質問の仕方や答え方を知り，問答する。 見えているものの持ち主がだれなのか尋ねたり，答えたりしてみよう。 評疑問詞Whoseを用いて持ち主がだれなのかについて問答することができる。（発表，観察） ③ **Part 2(2)** 疑問詞Where, Whoseの用法を確認し，それらを用いたコミュニケーション活動に取り組む。 ④★**Part 3** 人称代名詞目的格の用法を知り，練習する。 ⑤★**まとめ２，LP 3** さまざまな人称代名詞の用法についてまとめるとともに，対話練習などを通してその運用に習熟する。また，マークや由美たちの空港や機内での会話を聞き取る。 ⑥ **単元のまとめ(1)** 自分の好きな有名人についての詳しい紹介文を書き，人称代名詞の用法に慣れる。 ⑦ **単元のまとめ(2)** 前時に書いたお気に入りの有名人の紹介文を発表する。 ⑧ **単元のまとめ(3)** 学習事項をまとめ，単元テストに取り組む。	①・対話による口頭導入 ・生徒との対話形式の口頭練習 ・T or FまたはQ & A ②・対話による口頭導入 ・生徒との対話形式の口頭練習 ・T or FまたはQ & A ③・コミュニケーション活動のデモンストレーション ・コミュニケーション活動における生徒の相手役 ④・対話による口頭導入 ・生徒との対話形式の口頭練習 ・T or FまたはQ & A ⑤・生徒の対話練習の相手役 ・空港や機内でのエピソードの紹介 ⑥・紹介文作りのアドバイス ⑦・発表スピーチへのアドバイス

o①，②では，インフォメーション・ギャップを利用した簡単なコミュニケーション活動に取り組ませたい。

o⑤では，実際の空港内の放送や機内放送を聞かせたり，教師やＡＬＴの空港，機内でのエピソードなどを紹介して，海外へ旅行することに親近感をもたせたい。